

たなか

笑楽校2024

令和6年6月11日 NO16
柏市立田中小学校 並木孝樹

6年生 租税教室で1億円を持ちました

6年生の授業で「租税教室」を行いました。本日は税務署の方にお越しいただき全クラスが体育館に集まって講義を聞いたり、体験をしたりしました。体験とは「1億円」を目の当たりにするというものです。とは言っても本物ではありませんが、1億円の実際の重さと同時にお金の価値、税の意味についても実感できたのではと思います。子ども達の声です。

「今まで税の事や『税は命』という言葉の意味が分からなかったけど今回で税をくわしく知ることができて税のありがたさを感じました。」

「自分は税は高くなっていくし、自分のお金がなくなるいやなものだと少し思っていたが今は『税は命』という言葉にとってもなっとくしました。税金は生きるために必要なものということをお忘れないようにしたいです。」

「税金によって社会が成り立っているのだと思いました。税金によってできた教科書なども大切にしたいです。1億円が重かったので、それ×10000000くらいの重さ（価値）があることを知りました。」

「税＝命の意味が最初わからなかったけど説明を聞いてよくわかった。今まで税金は難しいと思っていたけれど今日の話聞いてよく分かった。税金にどんな種類があるのか調べてみたい。」

子ども達は税金という言葉聞いたことはありますが、あまり身近なものではありません。知っているのは消費税や市民税くらいでしょうか。今だとふるさと納税の方が知っているかもしれませんが、仕組みなどはわからないようです。今回は難しい税金の意味と大まかな仕組みがわかったようです。これから社会や総合的な学習などで活かしていくことができるでしょう。一生懸命学んでいたようで嬉しく思いました。

